

平成26年度事業評価報告書（施設名 森林研修センター情報交流館）

| 項目 | 評価できる取り組み等 | 改善すべき課題 |
|--------------|--|---|
| 1 運営に関する評価 | ①限られた職員体制で、適切に施設の管理運営を行っている。またネットワーク団体やボランティア、学生等と連携を図り、利用者サービスの向上に努めている。 ②職員が研修に参加し、その内容を事業等にフィードバックができています。 ③子ども用図書や木工体験等の充実を図り、木の文化に関する情報提供を積極的に行っている。 | ①関係する条例、規則等の理解とコンプライアンスの徹底が必要である。 ②防災対策、避難訓練等の充実、工夫が望まれる。 |
| 2 事業実施に関する評価 | ①学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っている。 ②公的機関、他施設、団体、ボランティア等との協力体制により、質の高い事業を行っている。 ③利用者のニーズに基づいた事業を企画し、体験を学びにつなげる取り組みがされている。 | ①学校による利用実績を分析、フィードバックすることで学習プログラムの充実を図り、新たな学校に提案するなど、利用拡大への取り組みが望まれる。 |
| 3 利用実績 | ①すべての事業において、目標以上の実績を達成した。 ②来館者数は前年度より75人増の11,428人となった。 | |
| 4 収支の状況 | ①概ね予算通りに執行されており、経費の節減にも努めている。 | |
| 総合評価 | ①学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っている。 ②公的機関、他施設、団体、ボランティア等との協力体制により、質の高い事業を行っている。 ③学校による利用実績を分析、フィードバックすることで学習プログラムの充実を図り、新たな学校に提案するなど、利用拡大への取り組みが望まれる。 ④防災対策、避難訓練等の充実、工夫が望まれる。 ⑤指定管理者による条例、規則等の遵守及び共有が必要である。 | B |

- 【評価の基準】 A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

| |
|---|
| 改善を求める事項 |
| ①学校による利用実績を分析、フィードバックすることで、学年ごとの段階的な森林学習プログラムの充実を図り、新たな学校に提案するなど、利用拡大への取り組みが望まれる。 ②適正な業務執行のため、関係する条例、規則等の理解とコンプライアンスの徹底が必要である。 |
| 今後、充実させて取り組むべき事項 |
| ①学校による利用実績の分析、フィードバックによる学習プログラムの充実 ②未だ利用されていない他の学校等の利用拡大 |